

こだわりの白杵産有機野菜を使用した
ケータリング事業と背景にある物語を可視化



「一物全体美しい」をコンセプトに、白杵産有機野菜を使用したケータリングの魅力を発信する。料理はもちろん、野菜の生産現場や調理風景など背景の美しさも伝えることで、その世界観を表現するWebサイトを制作中。



USAMI finefood and cuisine

1926年創業。白杵石仏に隣接する土産物店や郷土料理を提供するレストランを運営。2016年から、白杵市の有機野菜『ほんまもん野菜』を使ったケータリング事業を立ちあげ、約200年前に衰退した陶器『白杵焼』の再興にも尽力している。

所在地:大分県白杵市深田833-5
電話番号:0972-65-3333 <http://sekibutukankocenter.com>



江副直樹
フンボ 株式会社
事業プロデューサー

日田市在住。コピーライター等を経て、商品開発と広報計画を柱とするフンボを設立。農業、商業、地域活性など、多様なクライアントに対するコンセプト重視の事業戦略提案をおこなう。福岡デザイン専門学校特任講師。大阪芸術大学デザイン科客員教授。



福田まや
星庭
アートディレクター・グラフィックデザイナー

1985年生まれ、奈良県出身。広告代理店勤務などを経て2012年に大分県中津市耶馬溪へ移住。山の中で、ブランディング、パッケージ、ロゴデザインなど、さまざまなプロジェクトをおこなっている。

- 協働のポイント**
- 風土を表現し、社会に提示するケータリングとして事業をポジショニング
 - 企業が育まれてきた環境や歴史をもとにコンセプトを設計
 - 料理だけでなく、野菜の生産現場や調理風景などWebサイトで表現し、世界観を発信

地域の文化や生活を次代に繋げる役割を担う
老舗和菓子店のリブランディング



日田の文化や生活の継承を担い、地域内外に愛される和菓子店を目指すためのビジョンを策定し、リブランディングに着手。ロゴやパッケージのデザインに始まり、新店舗のアドバイスや、商品開発、ポップアップストアのプロデュースが同時に進行中。



日田市で60年続く老舗和菓子店。人気商品で4代目店主の財津加奈さんが昔ながらの味を守る「丸ぼうろ」や「最中」は日田市の冠婚葬祭の贈答品として長く愛されている。

所在地:(仮店舗)大分県日田市亀山町2-17
(2020年春から)大分県日田市中本町5-41
電話番号:0973-22-4547



永田宙郷
TIMELESS LLC.
ブランニングディレクター

美術館、デザインプロデュース会社等を経て、現職。『ものづくりをつくる』をコンセプトに数多くの事業戦略策定と商品開発に従事。伝統工芸から最先技術まで必要に応じた再構築やブランニングを多く手がける。

- 協働のポイント**
- これまでの60年を踏まえてビジョンを策定し、リブランディングを検討
 - 汎用品なども活用し、利便性の高いパッケージとグラフィックツールを展開
 - 他地域での販売を視野に入れた、ポップアップでのマーケティングを実施
 - 地域文化や地域素材との連携を高める新商品の開発に着手

親子をターゲットにした
オリジナルUVジェルのパッケージデザイン



ビームスと別府市のコラボレーションプロジェクト『BEAMS EYE on BEPPU』への参加をきっかけに、カボスオイル配合・温泉水入りの肌に優しいUVジェルを開発。小さな子どもを持つ親をターゲットにパッケージを制作した。



学校法人 別府大学の創立100周年事業として2007年に開館。香水コレクションの展示や調香体験・アロマ体験ができる工房が常設されている。バラの香りの石鹸やカボスの香水などオリジナルグッズの販売もおこなっている。

所在地:大分県別府市北石垣48-1
電話番号:0977-27-7272 <http://oita-kaori.jp>



安部芽衣
Kame Graphics
グラフィックデザイナー

1979年生まれ。福岡のデザイン専門学校を卒業後、印刷会社に入社。その後、広告デザイン制作を主とするデザインプロダクションを経て、2006年に別府市へ移住し『design studio SACCA』を設立。2011年に独立し『Kame Graphics』を設立。

- 協働のポイント**
- 小さな子どもを持つ親にアプローチするため、親しみやすく可愛いデザインに
 - 商品特性が一目で伝わるようイラストで表現

Webサイト改修を中心としたリブランディングで
温泉宿としての魅力を発信



Webサイト改修にあたり、泉質・貸切湯の種類・猫など、旅館としての強みの整理や、客層・利用シーン・動線の解析による課題整理をおこない、複雑だった情報をシンプル化した。現在、特長を明確に伝えるWebサイトを制作中。



別府市小倉、扇山の裾野にひっそりと佇む温泉宿。水溶性シリカや保温成分のメタケイ酸などを含む、別府では珍しいアルカリ性硫黄泉の自噴泉。「つるヌル」の美人湯として人気を集めている。

所在地:大分県別府市小倉4組
電話番号:0977-21-8080 <https://www.hozanso.com>



越田剛史
株式会社 Design totte
デザイナー・クリエイティブディレクター

1981年大分県生まれ。2012年デザイン組織『Design totte』を設立。2015年より広報戦略を含む企画・開発会社として法人化。大分県デザイン協会 会長。公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員。

- 協働のポイント**
- 宿全体を通した課題の洗い出しや強みなどの情報整理をおこなった
 - 宿の特長がストレートに伝わるようシンプルなWebデザインにした

干潟を活用して漁師が立ち上げた
新たなビジネスのブランド構築



全国的にも珍しい、干潟で栽培したひじきの特徴を伝える商品名を提案。BtoB向けのリリース資料も作成した。さらに漁師を対象に、ひじきの栽培方法、食の安全や海への思いをヒアリングレブランドを構築した。



大分県漁業協同組合 青年部 宇佐支部

広大な干潟を有する豊前海で漁業を営む熱き青年漁師グループ。流通研修、「朝市」の開催、漁獲した魚介類の加工品開発、干潟でのひじき養殖など行動力とアイデアで地域に活力を吹き込む。

所在地:大分県宇佐市大字長洲4263-43
電話番号:0978-38-0005 (大分県漁業協同組合宇佐支部)



櫻井暢子
unid 株式会社
コピーライター・アートディレクター・デザイナー

1983年愛知県生まれ、大分県育ち。2012年よりWebと紙媒体研究所UNIDRUSU.として広告デザインの仕事を開始。2016年よりunid 株式会社として法人化。クライアントらしい、志の伝わるブランド構築・媒体デザイン、ライティングをおこなっている。

- 協働のポイント**
- クライアントのビジョンを明確化し、ビジネスのゴールを設定
 - 生産者へのヒアリングや現地視察を重ね、商品の強みやポジションを探った

老舗精肉店が展開する、肉の専門家が
肉のセレクトショップのブランディング



新しくオープンしたBBQ商品の販売・レンタルをおこなうショップのブランディング。2019年3月のオープン以来、目標月商を達成し、リピーターが増えている。今後はギフトやパッケージにも取り組む予定。



有限会社 九州食肉学問所

「日本の食卓に笑顔と活力を」を理念に、生産者指定の食肉をメインとした、高品質で安心・安全な食肉を販売する老舗精肉店。ECサイト『九州肉屋.JP』や、BBQ商品の宅配・回収サービス『楽Q便』を展開している。

所在地:大分県大分市中鶴崎1-6-8
電話番号:097-521-3355 <https://butcher.jp>



unid(ユーンデ) 株式会社

コピーライター・アートディレクターで代表の櫻井暢子、グラフィックデザイナーの松本ゆかり・方志 絵利加の在籍するデザイン会社。「創造力で世界をつなぎ好循環させる」を理念に、クライアントらしい、志の伝わるブランド構築・媒体デザインをおこなう。

- 協働のポイント**
- 経営者が顧客に対面し、豊富な知識を提供する場として店舗をブランディング
 - 既存事業『楽Q便』の利用者に訴求する店舗を目指し、名称、ロゴマーク、販促ツールを制作

クリエイティブ人材との共創で、
別府の飲む温泉水の価値を視覚化



別府市明礬エリアで採水し、ボトル詰めした温泉水のリブランディング。マーケットリサーチを重ねながらターゲットを絞り、美味しい飲み方や使い方の提案などを加えた新たな切り口からデザインを一新した。

大木化粧品 株式会社

1948年創業。インターネットショッピングサイト『コスメボックス』を運営し、国内外の顧客へ化粧品や日用品を販売している。

所在地:大分県大分市大通町5-1-10
電話番号:097-543-0194 <http://www.ohki-net.co.jp/ohki-group/ohki-cosme.html>



福田まや
星庭
アートディレクター・グラフィックデザイナー

1985年生まれ、奈良県出身。広告代理店勤務などを経て2012年に大分県中津市耶馬溪へ移住。山の中で、ブランディング、パッケージ、ロゴデザインなど、さまざまなプロジェクトをおこなっている。

- 協働のポイント**
- 商品の優位性を明確にするために市場や競合商品のリサーチからスタート
 - クリエイター自身の商品体験を通じ飲用以外の用途を提案
 - 目指すべき位置やターゲットで整理し、デザインを一新

有機野菜の販路をBtoCからBtoBへと
変えるためのイメージ戦略



有機JAS認定を受け、作付面積を広げたことをきっかけに、農園名を『小松台農園』に変更。農園名とそこに込めたコンセプトを発信するため、ロゴや商品シールなどをリニューアル。日本タイポグラフィ年鑑2019入選。



小松台農園

由布市内町小松台地区で営む野菜農家。約1.2haの畑でシーズンごとに多品目の野菜を有機栽培している。2018年に『竹林畑』から現在の屋号に変更。

所在地:大分県由布市内高岡970-51
電話番号:097-582-1824 <https://komatsudai-farm.jimdosite.com>



福田まや
星庭
アートディレクター・グラフィックデザイナー

1985年生まれ、奈良県出身。広告代理店勤務などを経て2012年に大分県中津市耶馬溪へ移住。山の中で、ブランディング、パッケージ、ロゴデザインなど、さまざまなプロジェクトをおこなっている。

- 協働のポイント**
- 「有機野菜をもっと一般の食卓に届けたい」という思いをロゴに表現
 - 多品目の野菜を栽培していることを伝えるシールをデザイン